

和歌山大学 2025年度 入学式 式辞



和歌山大学に入学された、1,177名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。和歌山大学を代表して心よりお祝い申し上げます。ご家族やご関係者の皆さん、心よりお祝い申し上げます。また、ご多忙の中ご臨席いただいたご来賓の皆さんにも、厚く御礼申し上げます。

本日ここに、和歌山大学の新たな一員として迎えることができた皆さんを、私たちは誇りに思います。皆さんはこれから、自らの力で未来を切り拓くための学びと挑戦の場を得られることになります。それが、和歌山大学が掲げる理念「未来を切り拓く知の舞台」です。

この理念には、いくつかの重要な意味が込められています。

第一に、「未来を切り拓く」とは、今ここにある課題を乗り越え、より良い社会を築くために行動することを指します。未来は誰かが与えてくれるものではなく、皆さん自身の手で創り出していくものです。そのためには、新しい視点を持ち、挑戦を恐れない強さが必要です。

第二に、「知の舞台」とは、知識や知恵を深めるための場を意味します。しかし、それは単なる学問的な知識の習得にとどまりません。この舞台では、得られた知識をもとに、社会の中で何を成し遂げるべきかを考え、行動に移す力を育むことが求められます。和歌山大学は、この理念のもと、皆さんのが未来を切り拓くための力を身につける場として、教育や研究、地域との連携に力を注いでいます。

皆さんのが入学された和歌山大学は、教育学部、経済学部、システム工学部、観光学部、そして社会インフォマティクス学環という4学部1学環を擁する総合大学です。それぞれの分野で独自

の教育・研究を展開し、地域社会と密接に結びつきながら学びを深めてください。

さて、新入生の皆さん、大学生活は、これまでの学校生活とは大きく異なります。ここでは、与えられる学びではなく、自ら追求する学びが求められます。どのような知識を深め、どのような経験を積むかは、皆さん一人ひとりの選択にかかっています。この舞台での学部では4年間、大学院修士課程では2年間、また博士課程では3年間、皆さんが主体的に行動し、新たな可能性を切り拓くための貴重な時間です。

先に述べた「未来を切り拓く知の舞台」の理念をさらに深く理解するために、いくつかのポイントをお話ししたいと思います。

一つ目は、主体的に学びを選び取ることです。

それぞれの学部では、最先端の知識や技能を学ぶことができますが、それ以上に重要なのは、皆さん自身が興味や関心に基づいて学びを選び、深めることです。授業、ゼミ、卒業研究、さらに、自主演習や地域連携プロジェクト、海外留学といった経験を通じて、自らの将来像を描き、それに向かって行動してください。

例えば、観光学部では、持続可能な観光や地域活性化の課題に取り組む研究が盛んです。システム工学部では、AIやロボティクスといった最新技術を駆使して、社会の課題を解決する実践的な学びが展開されています。教育学部では、未来を担う次世代の子どもたちを育むための教育方法やカリキュラムの開発、さらには教育現場で直面するさまざまな課題解決を目指す学びと研究が行われています。経済学部では、地域経済の活性化や持続可能なビジネスモデルの構築に向けた学びが進められ、グローバルな視点から社会を読み解く力が養われます。そして、社会インフォマティクス学環では、情報技術を活用したデータ分析や社会課題解決のための新しいアプローチが追求されており、デジタル社会において不可欠なリーダーシップが育れます。

二つ目には、多様な仲間とともに成長することです。

大学は、同じ目標を持つ仲間との出会いの場でもあります。和歌山大学には、和歌山県内、大阪府内から約8割の学生が集まり、また日本全国各地から、さらには海外から、多様な背景を持つ学生が集まっています。彼らとともに議論し、協力し、時には競い合うことで、新しい視点や価値観を得られるでしょう。これこそが「知の舞台」のもう一つの側面であり、個々の成長を支える大きな力となります。わたくしが最も重要だと思っていることは、違う将来像を抱く人たちとの交流です。仲間をつくり、密なコミュニケーションを大切にして欲しいと願っています。

三つ目には、地域と世界をつなぐ力を養うことです。

和歌山大学は、地域社会との連携を大切にしています。和歌山県は、自然や文化遺産に恵まれた地であり、これらを活かした学びの機会が豊富です。一方で、グローバルな視点を持ち、世界で活躍できる人材の育成にも力を入れています。この地域性と国際性の両面を体験することが、皆さんの視野を広げ、社会に貢献する力を育む鍵となります。保護者の皆様へのお願いもあります。

す。国際社会で生き抜くためには、入学して1~2年生の間に海外への短期留学、1~2週間の経験をしてほしいと思います。大学も国際交流基金を活用し、海外留学を支援しています。ただ、大学の支援だけではまかないきれないことが多いのも事実です。留学費用や渡航費用などの支援は保護者の皆さんの理解と費用の応援をお願いしなければならないと思っています。是非とも入学生の未来への挑戦と世界に羽ばたく人材として成長していくために、今すぐにできる支援もお願いしたいと考えています。

四つ目には、学びとwell-beingの調和です。

大学生活では、知識の追求とともに、心身の健康を保つことも重要です。「未来を切り拓く知の舞台」を実現するためには、充実した学びと、健やかな生活のバランスが必要です。和歌山大学では、学生が安心して学べる環境づくりに力を入れています。大学内の環境整備や困難や悩みに直面したときには、一人で抱え込まず、仲間や教職員を頼ることのできるサポートシステムが整備されています。私たちは皆さんの成長を全力でサポートします。

五つ目には、挑戦し、失敗から学ぶことです。

未来を切り拓くには、挑戦する勇気が必要です。失敗を恐れず、未知の領域に足を踏み入れる経験こそが、真の成長をもたらします。失敗から学び、それを次の成功に繋げる力を身につけてください。それこそが「知の舞台」で得られる最大の財産です。

結びに、皆さんこれから約4年間が充実したものとなり、それぞれの夢や目標に向かって一步一步進んでいかれることを心より願っています。和歌山大学は、皆さんができる可能性を最大限に發揮できるよう、全力で支えてまいります。

ようこそ、和歌山大学へ。ともに未来を切り拓いていきましょう。本日は、誠におめでとうございます。

以上をもちまして、式辞といたします。

2025年4月5日

和歌山大学 第18代学長 本山 貢